



2019年 夏号

URL : <http://www.karashi.net/>

### なぜソドムは裁かれたのか

じめじめした梅雨の季節がやってきました。冷蔵庫に入れておいた食品に「カビ」が生えてしまったために廃棄を余儀なくされた方も多いのではないのでしょうか。

本来はまだ食べられるにもかかわらず、腐敗・食べ残し・期限切れなどの理由で廃棄されている食品の量は、年間 646 万トンとされています。農林水産省によると、一人当たり毎食お茶碗一杯分（約 136g）を捨てている計算になるそうです。2014 年は 320 万トンだったことを考えると、ここ 5 年間で私たち日本人の食に対する意識は大きく変化してきたのです。生産者の段階で規格外のものが廃棄され、スーパーやコンビニなど販売店の段階で売れ残りが廃棄され、レストランやホテルで食べ残しが廃棄されるなど事業系で 357 万トン、さらに一般家庭で 289 万トンの食べられる食品が捨てられているのです。

世界では今も 8 億人以上が栄養不足（世界の 9 人に一人）の状態にあると言われており、飢餓で苦しむ世界に向けての 2014 年の食料援助量は約 320 万トンでした（2015 年 WFP 実績）。実に世界全体の食料援助量約 320 万トンの約 2 倍の食品が日本でゴミとして廃棄されているのです。

創世記 19 章には「ソドムとゴモラ」に対する神の裁きの記事があります。性的退廃を表す「ソドミー」という言葉の語源になったのが「ソドム」であることを考えればソドムの道徳的腐敗は相当ひどいものであったことが想像できます。しかし、エゼキエル 16:49 で神がソドムの罪として宣告なさったことは、ソドムが「高慢で、食物に飽き安閑と暮らしていながら、貧しい者、乏しい者を助けようとしなかった」ことでした。現在日本に住む私たちこそ、悔い改めを迫られているのではないのでしょうか。

「声なき者の友」の輪 神田英輔

\*FVI の働きは皆様からのご支援に支えられているカタリストによって担われています。献金で各カタリストをご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。